

地域医療・AI デザイン研究講座 第3回配信会 開催にあたって

山形大学医学部寄附講座「地域医療・AI デザイン研究講座」は、人口減少や高齢化、医療資源の偏在といった地域医療が直面する構造的課題に対し、AI やデータサイエンスをはじめとする先端技術をどのように活用し、地域の実情に即した形で社会実装していくかを検討することを目的として開設されました。

近年、医療分野における AI 技術の発展は目覚ましく、診断支援や業務効率化、医療の質向上など、多くの可能性が示されています。一方で、地域医療の現場においては、技術導入そのものが目的化してしまうことや、現場のニーズや体制と十分にかみ合わないまま活用が進まないといった課題も指摘されています。本講座では、こうした状況を踏まえ、技術の導入そのものを目的とするのではなく、地域医療の現場が抱える課題や実践知を出発点として、地域医療全体をどのように支え、発展させていくかを考える中で、AI やデータサイエンスを含むさまざまな手段の位置づけや活用のあり方を丁寧に検討することを理念として掲げてまいりました。

そのため本講座では、医療者のみならず、研究者、行政関係者、産業界など、多様な立場の関係者が知見を共有し、対話を重ねることを重視しています。分野や立場を越えた議論を通じて、地域医療を支える新たな仕組みや連携のあり方を構想し、将来的な社会実装へとつなげていくことが、本講座の重要な役割であると考えております。

これまでの第1回、第2回配信会では、地域医療を取り巻く現状と課題の整理に始まり、AI 活用の可能性や具体的な取り組み事例の共有、さらには分野横断的な連携の重要性について議論を深めるなど、段階的に理解と視点を広げてまいりました。

第3回配信会では、これまでに蓄積された議論や知見を踏まえ、地域医療におけるAI 活用をより具体的かつ実践的な観点から捉え直すとともに、今後の研究・実装の方向性や課題について考察する機会としたいと考えております。本講座を通じて得られる学びや気づきが、各地域における医療の質向上や、持続可能な地域医療体制の構築に寄与することを期待しております。

本配信会（2026年2月28日（土）開催予定）が、地域医療の未来を見据えた建設的な議論と、新たな連携や取り組みを生み出す契機となることを願っております。

山形大学医学部 教授

地域医療・AI デザイン研究講座

研究責任者 山口 浩明